

琉球大学学術リポジトリ

復帰準備（対内）（政府調査団派遣等）－防衛庁、
防衛施設庁－(3)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-29 キーワード (Ja): 復帰準備, 防衛庁, 沖縄調査団, 試射場 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43393

調査団派遣（制限水域）

沖繩米軍基地及びその周辺地域の
現状調査について

(目的)
沖繩の施政権返還後の基地行政と円滑に
遂行するため、沖繩の米軍基地及びその周辺地
域における現状と把握することと目的として、防
衛施設庁職員を現地に派遣するものがある。

(期間)
派遣の期間は2週間とする。

(人員)
派遣の人員は3名とし、防衛施設庁本庁課長又は
課長補佐の職にある者をもって当てる。

(対象地域)
派遣職員が調査の対象とする地域は沖繩本
島において調査と必要とする米軍基地及びその周辺
地域とする。

(対象項目)
派遣職員が調査の対象とする項目は次のとおり

とする。

1. 米軍基地並びに制限水域及び保安水域に
関すること。
2. 米軍基地の運用により周辺地域に与える障害
等に関する事。
3. 米軍雇用労務者の雇用制度、給与制度及びその
他の労働条件等に関する事。
4. 米軍人等の行為による損害賠償等に関する事。

(その他)
調査に当たっては、米軍、琉球政府等からの資料
の提供を受けるとともに、琉球政府職員の支援
を得るものとする。

以上

ソカヒ

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘 160

電信写

外務省
事務次長
大臣官舎
秘書長
文書課長
文書課長

総番号(TA) 8122
70年2月18日 12時25分 3本 主管
70年2月18日 14時16分 本省 発着 米北

調査系
参調析企
参領旅移

外務大臣殿 高野 大使 臨時代理大使 総領事 代理

施設庁調査団の来ちゆう

第223号 極秘 至急

17日マーフィよりスズキに対する申越しにより調査箇所、方法等につき次の通り打合わせた。

1. 制限水域関係につき何を見たいかとの質問に対し、資料調査が主体となるも出来る限り現地、就中上陸演習の実態を見たい旨説明しておいた。

2. 未調査施設について
(1) ミヤコ及びクメについては民船を利用して現地とう査を行ないたい旨説明し先方了承。

(2) 先方よりその他の離島についてはヘリを利用した方がよいとの示さあり。

3. 補足調査施設については補足調査を要する理由、調査の場所を明らかにしてもらいたいと先方要望。

4. 上記3.及び現地調査の具体的日程案につき24日のSTG小委員会において説明を受けたいとの要望があつた。

(了)

ア 参地中東
長 北西
参北北
中南
欧 参西東洋
長 西東

近ア
参書近ア
長 次総経国万

長 参賀統
経協 参政技二
長 国一理

参協協
長 参政経科

長 参軍社専
情長 参道内外
文長 二